

# 誰一人も取り残さない体育授業の創造

インクルーシブな視点から再構成したベースボール型授業の実践

伊那市立伊那西小学校 寺川 耕平

## 同じ方向を向く難しさ

授業開始は10分遅れは当たり前。整列もままならない・・・  
そんな子どもたちが夢中になって「体育」を楽しむ。そんな姿を目指して研究してきました。

単元を終えてみれば、5分前に集まり、仲間と協力して授業の準備をしている姿。夢中になって話し合う姿がそこにはありました。



## 何度も おもいっきりできる「安心感」

使用教具の選定、自作教具の作成による十分な場作り  
メインゲームを工夫し誰もが安心して参加できる教材  
仲間との協力が自然と生まれるルール設定



## 学習する「環境」の見直し

子どもの視点に立ち、困り感を見つける  
「学習参加」から「学習への関与」への転換  
「個別の支援」の前に誰もが関与できる「環境」の見直し



## 「転ばぬ先の杖」にならない

子どもの実態を見極め、「環境」をつくる  
学習の余白をつくり、合意形成の機会をつくる  
教師主導⇄子ども主導のバランスを見極める  
子どもに「問い、委ね、束ねる」教師の指導  
「環境」は用意するが子どもと共に作る授業

